

2025年度

Peach Women's Business School

第8回

登壇者：奥村・千村税理士法人
代表社員 税理士 公認会計士
奥村 圭氏

講演テーマ：「財務会計」

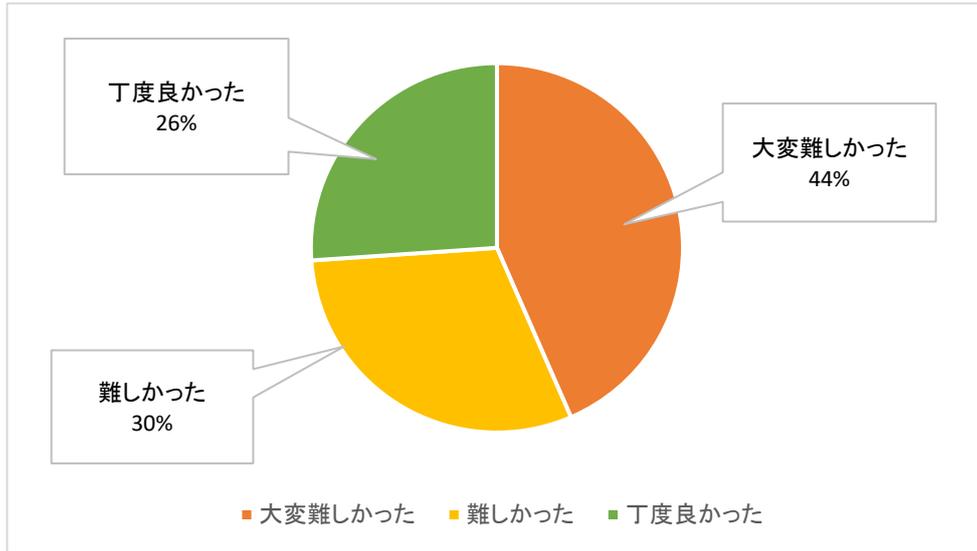
2025年度PWBS 第8回アンケート集計結果

研修日：2025年10月31日(金)

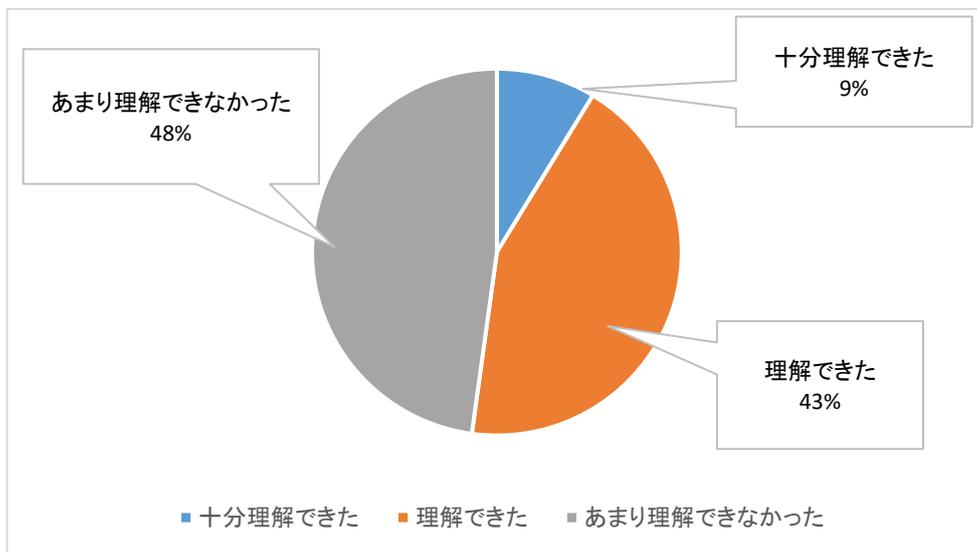
登壇者：奥村・千村税理士法人 代表社員 税理士 公認会計士 奥村 圭様

講演テーマ：「財務会計」

(1) 本日の講義の難易度はいかがでしたか。【大変難しかった、難しかった、丁度良かった、易しかった】



(2) 本日の講義の理解度はいかがでしたか。【十分理解できた、理解できた、あまり理解できなかった、どちらともいえない】



(3) 上記の理由をご記入ください。

これまで業務でBS、PLを取り扱うことがあったため、スムーズに理解できた。なかなか実務で使う機会が無かった運転資本の知識をおさらいでき、損益計算と資金繰りを考えるワークで実際に計算することで理解が深まったため。

業務上馴染みのあるテーマでしたので、理解のしやすい講義でした。総勘定元帳の作成など基本的な内容から、資産繰りの計算などこれまであまりやったことのないワークまで幅広く考えることができる講義でした。

以前に簡単な経理業務に携わっていた時期があったため、過去の記憶を呼び起こしつつ、なんとか理解できたという感じです。

会計の知識がまったくなかったので、初めての内容ばかりで、正直短時間で理解するのは難しかった。

演習を多く設けてくださったことで「基本の基（き）」を理解することができました。

基礎的なワークはサクサク解けましたが、最後のワークは基礎的なワークが複数組み合わせられており、どこに視点を合わせて解いていけば良いのか見失うことがあり、難しく感じました。また限界利益の数式など経営に重要な数値の見方や出し方も知ることができ、難しくは感じましたが、非常に有意義な講義だったと感じました。

自身の日々の業務がP/L中心であるため、ご講義がB/S・C/Fの内容まで多岐にわたっており、有意義でした。

各項目の算出された金額を何を意味するのかということが理解できなかったからです。算出の仕方はワーク等で練習できたので理解しやすかったです。

本日の講義は、内容が財務会計全般にわたり（各論のダイジェスト版のようなものと認識はしていますが）、非常にボリュームのある内容であったため、なかなか腹落ちさせるところまでは至らなかったです。ワークも先生に指定された時間では到底間に合わず、自身の会計分野における理解の不足さやそもそもの苦手意識について痛感しました。

演習問題を交えながらの講義形式で理解しやすく、分からない点についてもグループで相談しながら進められたため、無理なく取り組むことができました。

自身が仕分けや残高表のことを忘れてしまっていた点反省しておりますが、ワーク内容を理解するのに時間がかかり、タイムオーバーになってしまいました。最後のワークの答え合わせができず、完全には理解できなかったかなと思い、上記選択といたしました。

損益計算と資金繰りの研修ワークは、研修時間内に回答を出すことができませんでしたが、理解はできていました。研修後になりましたがワークを完了することができました。

理解が足りず（時間が足りず）、演習で埋められない箇所があったため。

ワーク①から④まで順を追って進めてくださったおかげで、最初は仕訳の基本から始まり、次は損益分岐点や利益の計算、そしてワーク④の実際のビジネスで起こるようなイベントによる財務への影響まで、実践的な内容を学ぶことができました。特にワーク④では、ちょっとした条件の違いで利益や資金が大きく変わることに驚き、財務会計が経営に深く関わっていることを実感できました。

簿記の基本的な仕分けは理解していたものの、貸借対照表や損益計算書の意味を十分に把握できませんでした。

講義内容は、ある程度会計の知識があることを前提として進められていると感じ、自身の理解が追いつかない部分も多くあった。特に、「何から何を割ったり引いたりしたものがどの指標になるのか」や、「どの数値とどの数値を比較すれば企業の財政状況が健全かどうかを判断できるのか」といった点について、即座に理解することが難しく感じた。

財務会計は企業の経営状態や経営成績を株主や投資家、取引先などの社外の利害関係者に対し開示する報告書であり企業の透明性と信頼性を担保している。財務諸表（貸借対照表（B/S：バランスシート・損益計算書（P/L：プロフィット・アンド・ロス・ステートメント）・キャッシュフロー計算書（C/S：キャッシュフロー・ステートメント））は改めて学ぶことができた。講義の中でよく見聞きする指標など業務の中で実施しているものもあれば言葉は聞いたことあるが計算方法を知らなかったので学ぶことができスキルアップできた。

会計に関わる様々な専門用語について、その定義と具体的な内容、そして両者の違いを深く理解することができました。単に用語を覚えるだけでなく、「その数字をどのように捉え、分析すべきか、実績をその先の事業戦略や具体的なアクションにどのようにつなげていくか」という実践的な応用方法まで知ることができたため、数字を業務に活かす道筋が明確になりました。

用語の意味をしっかりと理解していなかったため、講義の内容は理解できましたが、使い道や意味が中々理解しきれなかった部分がございます。

今回の研修では、後半のワークが難易度が高く、苦戦しました。特に最後のワークについては、グループで回答を見出すことができませんでした。さらには、解説がなかったため、グループ内で話し合った内容の確認ができず、理解が不十分なまま終わってしまった印象です。

財務会計について、どのように表記されているのかや、講義の中で行った計算は大まかには理解できましたが、記載されている内容への理解や、どのような箇所に着目して資料を読めばいいのかについては、前提となる知識の不足から、理解が不十分であると感じました。

丁寧に分かりやすく説明していただきましたが、普段から数字に接する機会がなかったこともあり、なかなか理解できるまでにはいきませんでした。

大学で日商簿記を少し学んでいたこと、業務で給与仕訳などを一から検証した経験が活かされ、受講前は「財務会計」という言葉に抵抗感を持っていましたが、思っていたよりも理解でき、また記憶を呼び覚ましながらワークを解くことが楽しかったです。

(4) 本日の研修の感想をお聞かせください。

具体的な課題に対してどう対応すれば目標達成できるかを考える中で、仮想ではあるものの問題解決に向けて実務的に検討したことが理解に繋がった。また、ワークを通じて販売単価アップ、在庫や運転資本の圧縮など、それぞれのインパクトを体感できた。本社部門にいたるため、財務諸表を理解することは最低限の知識として定期的に学びなおすことが大切だと感じた。

会計情報を読み解くの業務だけでなく自分の資産形成などにも役立つことなので、改めて勉強できてよい機会となりました。ワークによる作業が多い講義だったので楽しく進めることができましたが、ボリュームが多く最後までチームで終わらせることが出来なかったのが心残りです。

業務や資格取得等に関わったことがなく、用語の定義や会計の仕組み等の知識が全くない状態であった場合、初手で今回の講義・課題に取り組むことは、なかなか難しいことであったかと思います。PWBSには様々な業種、来歴を持つ方々が参加されていることから、「この程度の知識・理解は一般常識である」ということを突き付けられたようで、自らの不勉強を恥じるばかりです。

ワークでは、同じグループのメンバーに助けをもらいながら、ついていくのがやっとでした。決算書の見方を教えて頂いたので、今回の講義の内容を踏まえて再確認してみようと思いました。

普段の業務では全く縁のない内容でしたが、新しい世界でとても楽しかったです。売上げが上がると運転資本も多く必要になることや、固定費の削減は利益への影響が案外少ないことなど、考えたこともなかったのでどれも新しい学びでした。

経理や財務の知識がないことが自分のキャリアやスキルの中で欠けていると思ってきましたので、大変良い機会になりました。本日の研修3時間で実務的な知識を身につけることは難しいとは思いますが、会社や部門、プロジェクトなど実際の業務に置き換えた時に、コスト削減や売上げ、実績などをどのように考えて成長させていくことが大事なのかという視点を身につけることができたと感じました。

説明とワークが交互にあり、集中して取り組むことができました。思ったより時間がかかるワークは、手分けして進めるなどしてグループで色々相談しながら進めていくのが楽しかったです。

同じ事象でも表現の仕方によって収入や支出を表現するタイミングが違うということが理解するのに難しかったです。算出された金額が何を意味するのか、その金額から会社の状況をどう判断するのかということも理解ができませんでした。しかし最後のワークでは、発生したイベントに対する対応策を考える際に、価格の上げ下げ以外にも収益を変更させる要素があることが分かりました。通常業務ではこういった数字の管理はしたことがなかったのですが、対応策を考えてその成果を予め数値で出して検討できるということを知りました。簡単な数値でも混乱しましたが具体的な例で作業できたので少し理解できました。

講義の内容は会計分野を苦手とする自身にとっては非常に難しいものでしたが、会社を財務的視点で評価する、ということの重要性は勉強不足ながらも感じる事ができました。最後のワークは制限時間内に結論にたどり着くことはできませんでしたが、どの指標を改善させれば儲かるのか、その指標を改善するためにはどういう施策が有効なのか、を数字を使って整理することは非常に興味深かったです。こうすれば儲かる、というセオリーのようなことは認識しているつもりでしたが、数字を調整しながら把握することで、収益やコストの構造について改めて理解できました。

財務会計に対して苦手意識を持っていましたが、分かりやすい説明と演習問題により理解を深めることができました。今後は学んだ知識を活かして自社の財務諸表を見直し、これまでとは異なる視点で分析してみたいと思います。

グループワークにさせていただいたので、メンバーで相談しながら楽しく進めることができ、難しいながらも何とかついていくことができました。個人的には、あと30分くらいあれば有難かったです。

複式簿記は学生時代に学んできたので知識は持っていましたが、損益分岐点は、計算式が組まれてたエクセルを利用しているだけで、基礎知識は持っていませんでした。損益計算と資金繰りの研修ワークでは、いろんなケースを考えながら理解を深めることができました。個人的に、今回の研修はとても楽しく、とても有意義な講義でした。

財務諸表をざっくり読むことはできている、、、つもりでしたが実際に演習をやってみると理解が追いつきませんでした。会社の業績や投資など数字をもとにした議論が行われる場面に際して最低限の数字感覚を持っておきたいです。

今回の研修は、財務会計のことをほとんど知らない自分でも、段階的に学べる内容でとても助かりました。ワーク①でまず仕訳の基本からスタートして、数字の関係性を少しずつ理解できました。ワーク②では損益分岐点について、売上と費用のバランスの大切さがわかりました。ワーク③では、売上や費用の変化によって利益がどう変わるかを計算してみて、数字の動きが面白く感じました。そして一番印象に残ったのがワーク④です。ちょっとした前提条件の違いで、利益や資金が大きく変わることに驚きました。財務会計とは、ただ数字を管理するだけじゃなくて、経営判断に深く関わってるんだなと実感しました。最初は難しそう、と思っていましたが、ステップを踏んで学べたことで、少しずつ理解できてきたように思います。今後は、数字の意味を意識しながら自身の仕事に活かしていきたいです。

簿記の知識があることである程度理解できていると思っていましたが、実際には財務会計の全体像や決算書の読み方・作り方に関する理解が不足していることを痛感しました。ワークに全くついていけず、基礎から学びなおす必要性を強く感じました。今後は、貸借対照表や損益計算書の構造をしっかりと理解し、数字の意味を把握することから始めたいと思います。

財務会計について苦手なことが再認識できた。今回いただいたワークを繰り返し行い理解を深めたい。また、社内の専門知識を持つ方にレクチャーいただく機会を設け、理解を深めたい。

財務会計作成は自身の業務範囲外ではあるが見るという事の大切さを学んだ。又、講義で行ったワークは事業所の経営数値を見ると共に取引先毎に損益と資金繰りを割り出し改善にもつなげていき実務に於いて活かしていきたいと思います。大変、貴重な講義でした。

今回の研修を通じ、普段業務で目にしている会社の「数字」が、どのようなプロセスを経て作成されているのかという部分を深く知ることができました。財務諸表の数字は、資産の評価額や、将来の入出金を織り込んだ想定金額など、様々な非現金要素で構成されており、会社の真の資金力や企業価値を評価することの難しさを改めて認識しました。自身の業務においては、これまで会社の経営状況を各種指標で評価するに留まっていた。しかし、その評価結果を、具体的な業務の「改善策」や「事業の展開」といった戦略的なステップにまで結びつけることが、最大の課題だと認識しています。今後は、数字を分析する際、「当社の状況にとって最も適切な改善策は何か」「この数値をどのように変化させれば事業展開に貢献できるか」という、深い分析と考察をセットで行うようにしたいと思います。

企業の健康状態を判断する指標として、理解しておかないといけない知識だと思いますので、今回を機に自分でも勉強しようと思いました。

講師の方も受講生の反応をみながら、説明してくださり、また楽しみながら受講することができました。全体を通して有意義な研修でした。前半の講義では会社の財務諸表の見方についてご説明いただき、基本的な理解を得ることができました。加えて、その他の指標（ROIC、EBITDA倍率など）についても、さらに詳しくご解説いただけたことより理解が深まったと思います。ただ、3時間では時間が足りないと感じました。可能であれば、もう少し時間をかけてじっくり学べる機会を設けていただけたらありがたいです。

財務会計書がどのように表記されているのかを知る機会になりました。知識をもっと増やして、今回講義で学んだことを無駄にしないように、内容を理解できるようになりたいと思います。

普段の業務において数字に接する機会がなく、また苦手意識をもっていました。先生の説明やワークを通して、経理部門でなくても会社の一員として財務の知識や数字の見方を知っていることは、ミクロの視点で会社の状態を知ることができるため、大切なことだと再認識しました。難しいながらもいつもと変わった視点から考えるワークは楽しかったので、今後少しでも勉強できたらと思います。ありがとうございました。

現在は業務において会計に関する数字を扱うことがなく、知識が遠のいていましたが、改めてこのタイミングで基礎的な内容を学ぶことができ、語彙や理屈の確認を行うことができました。ワーク4は全く歯が立ちませんでしたが、色々な仮定をもとに計算し、検証する作業が面白かったです。